

平成 31年3月12日

日光市議会議長 斎藤伸幸様

日光市議会議員 荒川礼子

## 議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	あなたの知らない議会のチカラ
会議等の 主催者の名称	地方議員研究会
場 所	名称等：新大阪丸ビル別館 住 所：大阪市淀川区中島 1-18-22
期 間	平成 31年2月11日(月)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>「若者の政治離れ」「低投票率に表れる国民の政治への無関心」「政治家の不祥事」など地方議会の存在そのものに危機感を感じている多くの議員がいる中で、講師である県庁職員経験者であり元廿日市市副市長の川本氏は、世界に例を見ない速さで進む人口減少、少子高齢化を迎え地方自治体が生き残りをかけもがいている今こそ地方議会が重要であり、議員力をつけることが最も大切であると講義されています。</p> <p>その主な内容は①「議員力とは」②「議会と執行部の関係」③「二元代表制の本来の在り方を目指して」の大きく3点に分け、それぞれ詳しく説明を受けました。</p> <p>まず、①「議員力とは」評価する力、財政を見通す力、市</p>

民の声から政策課題を引き出す力、制度を知り制度の限界を知る力、人の力を借りるチカラであるとし、その議員力が何のために必要なかを説かれている。また、議会主体の政策マネジメントサイクルや、戦前の地方行政機関から、現在の地方自治体への変遷を通し、本来の議会の在り方を説明されている。

②「議会と執行部の関係」では、まず、法に基づく仕事であることから、常に根拠に基づく考え方が重要であり、“条文に戻る習慣をつける”ことが大切である。また、委員会には、十分な議論が必要であり、一つの機関として機能することが大切である。

③「二元代表制の本来の在り方を目指して」では、首長に（議案）に対し、「批判」と「非難」の違いを明確に示し、本来の議会の在り方を説明されている。また、政策形成機能を議会として内在化した会津若松市議会や栗山町議会などの事例をあげ、議会が力をつけることによって、政策をリードできるとしている。

最後に、議会がチカラを付けるとは、意思集約力をつけることにより、決定力を持つことであり、そのためには議会が一つになれるチームワークの強さが求められると説明されています。

今回の研修に参加し、改めて、地方議会の在り方を考えさせられました。本来、持つべき議員力を一人一人の議員が身に付け、更に、議会としてのチームワーク力を高めることが、今の地方議会にもっとも必要なことであると感じました。そうすることで、本来の「市民の代表」としての政策形成機能を果たすことが出来るものと考えます。

このような研修は、是非、議会全体として、全議員が受講することで、議会の機能を高めることにつながるのではないかと感じました。